

2009年度

科目名	書論・鑑賞B		
担当教員	竹下 麻子		
配当	日文3	コード	51140
開期	後期	講時	金曜日1限
		単位数	2
授業テーマ	書くことの意義を捉え、名筆を鑑賞する。		
目的と概要	古代から中世・近世の日本において「書」とは何かを考え、名筆のかずかずを鑑賞する。		
成績評価法	出席状況と受講態度、授業中に提出してもらった感想文なども考慮し、期末試験の成績とともに評価します。		
テキスト	神戸平安文学会編『仮名手引』(和泉書院) その他、プリントを配布します。		
参考書	講義中に紹介します。		
履修に 当たっての 注意・助言	『仮名手引』は手持ちの類書でも可。		
講義計画			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1、入木道とは何か</li> <li>2、平安時代の書物 (1)</li> <li>3、平安時代の書物 (2)</li> <li>4、鎌倉・室町時代の書物</li> <li>5、江戸時代の書物</li> <li>6、装飾料紙 (1)</li> <li>7、装飾料紙 (2)</li> <li>8、絵巻物の書『伊勢物語絵巻』(1)</li> <li>9、絵巻物の書『伊勢物語絵巻』(2)</li> <li>10、絵巻物の書『源氏物語絵巻』(1)</li> <li>11、絵巻物の書『源氏物語絵巻』(2)</li> <li>12、冷泉家における古典書写 (1)</li> <li>13、冷泉家における古典書写 (2)</li> <li>14、冷泉家における古典書写 (3)</li> <li>15、まとめ</li> </ol>			